

連絡先：物流・自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
TEL：03-5253-8111 内線42361
アドレス：<https://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和7年7月8日

リコール届出番号	5687	リコール開始日	令和7年7月9日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 設楽 元文 問い合わせ先：カスタマーコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（カムシャフト固定プレート）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機のカムシャフト固定方法の検討が不十分なため、カムシャフトを固定するプレートのボルトの締付力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが緩んでカムシャフトを固定できなくなり、最悪の場合、エンストし再始動できなくなる。		
改善措置の内容	全車両、当該プレートを対策品に交換するとともに取付けボルトを新品に交換し、新たに設定した締付けトルクで締付ける。		
不具合件数	41件	事故の有無	なし
発見の動機	海外市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2BK-SG42J	「XMAX250」	SG42J-001001～SG42J-008481 平成29年10月17日～令和3年4月30日	7,356台	
	8BK-SG70J	「XMAX250」	SG70J-001001～SG70J-002600 令和3年4月8日～令和5年2月8日	1,587台	
	2BL-SH15J	「TRICITY 300」	SH15J-001001～SH15J-002384 令和2年7月28日～令和3年6月24日	1,382台	
	8BL-SH21J	「TRICITY300」	SH21J-001001～SH21J-001097 令和5年3月24日～令和5年8月1日	93台	
	（計4型式）	（計3車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成29年10月17日～令和5年8月1日	（計10,418台）	

（備考） リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。